



## 新 養護老人ホーム和光園完成披露式 施設完成で弱い立場の方々を支援

3月11日(水) 古川町下気多 和光園

養護老人ホーム和光園の老朽化に伴い、平成28年度から建設が進められてきた新施設が完成し、11日に関係者らによる完成披露式が行われました。

新施設の総事業費は10億6百万円で敷地面積は1,447平方メートル、鉄筋コンクリート造りの4階建て、部屋はすべて個室で、定員は50人です。

完成披露式では、施設設置者の都竹市長、指定管理者の社会福祉法人吉城福祉会の橋本正人理事長や関係者ら約25人が出席し、設置者あいさつや和光園の概要説明が行われた後、関係者らによるテープカットが行われました。



完成した施設の外観

## 看 里山ナース院内認定制度活動報告・認定式 看護師のやりがいと今後の活動に繋げる

3月5日(木) 飛騨市民病院

人材育成プロジェクトとして行っている「里山ナース院内認定制度」の活動報告とその認定式が5日、飛騨市民病院で開かれ看護師ら28人が認定を受けました。

この制度は、看護師自らが教育カリキュラムを考えて実践し認定する制度です。

この日は、はじめに看護部長らが今年度の認定制度の概要や定義、カリキュラムなどについて報告しました。

認定制度では、取得方法別に定義された到達目標とレベルに応じた認定証が用意され、今回は「SUPER(1st)」の認定証と「里山のはち」をイメージしたバッジが都竹市長から一人ひとりに手渡されました。



認定を受けた看護師の皆さん

## 障 複合児童福祉施設竣工式 障がいを持つ子どもたちに福祉サービスを提供

3月27日(金) 神岡町殿地内

障がいを持つ子どもたちに福祉サービスを提供する複合児童福祉施設が27日、神岡町殿に完成しました。

この施設は、「なかよしキッズ」と「ことばの教室」の複合施設で、なかよしキッズは、これまでの「日中一時支援」から「放課後等デイサービス」に移行し、子どもたちの自立に向けた支援を重視。ことばの教室は、子どもたちがのびのびと過ごせるよう、活動スペースがより広くなりました。

竣工式では、都竹市長、飛騨市社会福祉協議会の竹本会長や関係者約20人が出席し、関係者によるテープカットが行われました。



完成した施設の外観

## 古 古川提灯後継者の野中早織さんが市長報告 古川提灯が復活「伝統を途絶えさせない」

3月9日(月) 市長室

約10年前から途絶えていた「古川提灯」の復活に取り組んでいた野中早織さんが2年間の見習い職人を終え、都竹市長に意気込みを報告しました。

「古川提灯」は、古川祭などで多く使用されているナツメ型の提灯で、材料の入手困難等により約10年前から途絶えていましたが、野中さんが、2年前から白井提灯で提灯を製作していた数川寛子さんを師匠に、提灯職人として提灯づくりの製法などを学んできました。

この日は野中さん、数川さんが市役所を訪れ、数川さんから継承した提灯づくりについての思いやこれからの意気込みなどについて話しました。



提灯を手にする野中さん(中央)と数川さん(左)